

成功への道筋が見えて来る！かがわの産業界の今をお届けする

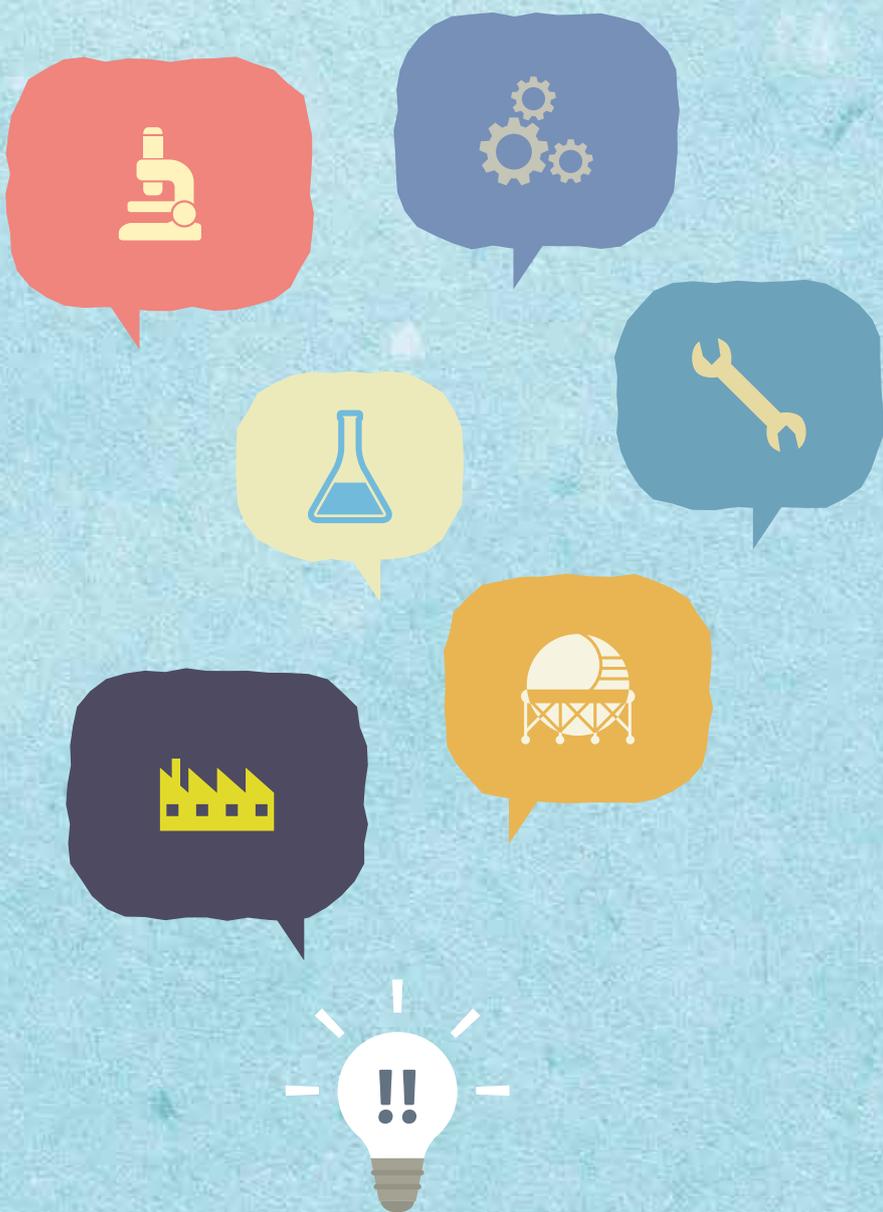
かがわ産業情報 21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

7

2019 | vol.73

年4回発行



【特集】

かがわ産業支援財団が創業者の夢を開業までサポート
令和元年度「かがわ創業塾」を開催！
香川県よろず支援拠点が
新体制で再スタート！

【かがわ発！元気創出企業】

「株式会社ダイコープロダクト」
手袋と袋物で築いた「技術」と
地元デザイナーが持つ「視点」で
ファクトリーブランドが躍進する

【理事長が行く】

第26回 芦原科学賞大賞受賞者インタビュー
～「信頼に技術で応える」こととお客様とともに繁栄する会社を目指して～
大津理事長が株式会社石垣を訪問

第26回 芦原科学賞大賞受賞者インタビュー

～「信頼に技術で応える」こととお客様とともに繁栄する会社を目指して～

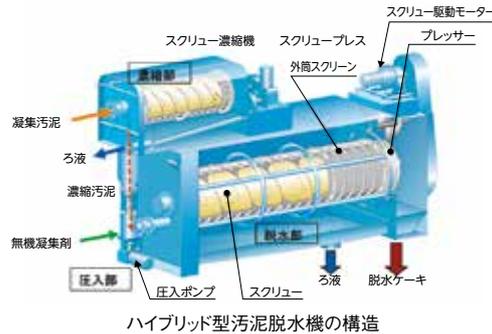
大津理事長が株式会社石垣を訪問

「第26回 芦原科学賞」で大賞を受賞(テーマ: 下水処理分野において難脱水性汚泥や低濃度汚泥に対する高性能化と処理の大容量化や安定化を可能とする汚泥脱水機「ハイブリッド型圧入式スクリュースプレ脱脱水機 (ISGKV型)」の開発)された株式会社石垣の山下取締役、片山取締役および三野技術本部長を訪ね、(公財)かがわ産業支援財団大津理事長が、開発のご苦労やこれからの事業展望、抱負についてお聞きしました。

訪問した株式会社石垣(坂出市江尻町)は、「信頼に技術で応える」という企業理念のもと、水インフラと産業を支えるプラントエンジニアリングメーカーとして、脱水機、ろ過機、ポンプなど「水」を守り支える製品において、常に新技術の開発に取り組み、お客様へ提供することで、環境保全を通じて社会に貢献している会社です。



芦原科学賞大賞贈呈式の受賞者記念写真
(左から 推薦者代理 藤岡課長、受賞者 山下取締役、犬塚部長、玉内氏)



ハイブリッド型圧入式スクリュースプレ脱脱水機 (ISGKV型)

■ 芦原科学大賞の受賞

理事長: この度は、芦原科学大賞受賞、誠におめでとうございます。まず、受賞されたお気持ちをお聞かせください。

山下取締役: 芦原科学大賞は、科学技術分野における県内最高の栄誉と捉えており、今回の受賞を大変嬉しく思っています。また、取引先や協力会社の方々からお祝いのお声をかけて頂き、お花も頂戴するなど反響が大きく、大変有難く思っています。



大津理事長



受賞者 山下取締役

片山取締役: スクリュープレス脱水機については、2000年頃から新型機の開発をスタートし、これまで弛まず開発を進めてきました。今回の受賞は、こうした努力が認められたものと考えており、非常に感慨深いものがあります。

三野技術本部長: 技術の実施部門として、装置の開発・販売を長年続けてきました。当社で開発したものをこうして評価して頂いたことは、今後の開発において、大変励みになると思っています。



受賞者 片山取締役



受賞者 三野技術本部長

Contents

2019年7月 vol.73 発行(年4回発行)

かがわ産業情報 217

【理事長が行く】	
第26回 芦原科学賞大賞受賞者インタビュー ～「信頼に技術で応える」こととお客様とともに繁栄する会社を目指して～ 大津理事長が株式会社石垣を訪問	1
【特集】	
かがわ産業支援財団が創業者の夢を開業までサポート 令和元年度「かがわ創業塾」を開催!	3
香川県よろず支援拠点が新体制で再スタート!	4
【支援事例紹介】	
新商品ストーリー by かがわ農商工連携ファンド事業 vol.14 「GOMYO LEATHER」	5
第11期(追加募集) かがわ農商工連携ファンドの支援対象事業が決定しました!!	5
新かがわ中小企業応援ファンド等事業(創業ベンチャー支援事業)「株式会社佐竹技研」	6
新かがわ中小企業応援ファンド等事業(新分野等チャレンジ支援事業) 「日本メディカル株式会社」	6

【財団の活動】	
機能性表示食品に挑戦しませんか	7
第7回 希少糖戦略会議が開催されました	8
県内の小学校で希少糖出前講座を開催します	8
【財団からのお知らせ】	
(公財)かがわ産業支援財団からの入居施設のご案内	9
新かがわ中小企業応援ファンド等事業 令和元年度 後期事業を募集しています	9
令和元年度 高度産業人材育成事業(IT研修)のご案内	10
スタートアップ支援補助金の2次募集をしています	11
「かがわ知財経営塾」を開催します	11
「知財マッチング in かがわ2019」を開催します	11
知的財産セミナーを開催します	12
「中小企業等外国出願支援事業」募集のお知らせ	12
知的財産権制度に関する出前講座を募集します	12
【かがわ発!元気創出企業】	
手袋と袋物で築いた「技術」と地元デザイナーが持つ「視点」で ファクトリーブランドが躍進する 株式会社ダイコープロダクト	13

■プロジェクト立ち上げの経緯と成果

理事長：今回の技術開発に当たっては、どのような方針で取り組まれたのでしょうか。

山下取締役：創業以来、他社には無い新しい技術を世の中に出し続けないと会社の発展は無いというポリシーのもと、技術開発を一途に進めてきました。世の中の変化を先取りする位の気持ちで新しいテーマを見つけて開発していこうというのが、社是となっており、テーマが決まれば、経営資源である人、モノ、金を惜しまず出すこととしています。開発に失敗はつきものですが、困難に出会って挫けそうになっても、オーナーが常に励ましてくれましたので、我々としては安心して、新しい技術を追求することができました。

理事長：今回の開発で、どのような苦労があったのか、お聞かせください。

山下取締役：今回開発したハイブリッド型脱水機は、装置の上部に濃縮部を、下部に脱水部を配置した構成としています。これは濃縮部で前濃縮し、それを脱水部に入れば、さらに効率的に脱水できるだろうという発想からです。ところが実際には、なかなかうまくいかず、テスト機を改良しては実験・結果分析というトライアンドエラーを何度も繰り返し、最終的に性能面・コスト面で満足がいく製品とするまでに1年位掛かりました。

片山取締役：従来の製品では汚泥性状が変わると処理量も変わっていたのですが、お客様から汚泥性状に拘らず一定量の汚泥を高効率で処理したいという要望があり、それを可能にする開発が非常に難しかったところでした。

理事長：今回の開発製品は、従来品に比べてどのような性能アップが図れましたか。

三野技術本部長：今回の製品では、脱水処理後の汚泥の含水率を下げることができ、また、時間当たりの処理量を上げることができました。これにより、汚泥の処分費を安くすることや、運転時間の短縮により省エネに繋げることができました。

山下取締役：具体的な話で言えば、例えば脱水した汚泥をセメント会社に持って行き、お金を払って受け取ってもらうのですが、その水分量が減れば、ボリュームも減りますから、処分費が少なくて済みます。また、大きな処理場であれば、焼却炉で汚泥を燃やしますが、その際、補助燃料として油やガスを使います。ここで汚泥の水分が減れば、当然、必要な補助燃料も減りますから、維持管理コストが安くなります。この汚泥の処分コストは案外高く、これを下げるとトータルコストの削減に大きく効果があるところが、お客様に受け入れられたところです。

理事長：さらに会社が発展するために、今後どのような開発に取り組んでいきたいと思っているのでしょうか。

山下取締役：お客様のニーズはどんどん新しくなっており、我々も次々と新しい技術を開発する必要があると思っています。特に水環境インフラの分野では、まずは省エネあるいは創エネにならないか、そして維持管理コストが安くないかと言うことが求められてきています。これらに係る技術ネタを見出し、他社とは違う我々にしかできない、お客様の信頼に応えられる技術を提供していくことが使命だと思っています。

■仕事のやりがいと喜び

理事長：仕事を通して、喜びや感動、誇りを感じるのはどのような時でしょうか。

山下取締役：製品を納入あるいはサービスを提供した際、お客様から「石垣さんは期待通りの会社だった。」と言って頂くのが、我々の一番の喜びです。

片山取締役：製品を納めた際に「この製品を採用して良かった。」と言って頂いた時や、様々な発表の場で多くの方々に聞いて頂いた時など、社外の方に評価をして頂いた時に大きな喜びを感じます。

三野技術本部長：インフラ設備を納める際には、製品納入とともに現地工事や試運転も行い引き渡しさせて頂いております。こうした一連の作業を経て完成した設備は記録や記憶に残るものであり、自信と誇りが持てることです。また、当社も創業60年が過ぎ、世代交代が進みつつありますが、若い世代が一生懸命に仕事をして設備を納めているのを見る時にも、その成長した姿に喜びを感じます。

■今後の抱負と事業展望について

理事長：今後の抱負や事業の展望についてお聞かせください。

山下取締役：「信頼に技術で応える」、これが創業者が作った企業理念であり、その実現のために「技術開発力」を中心に据えているところが当社の特徴です。「明るく楽しく仕事をしながら、お客様とともに繁栄していこう」と言うのが、我々の共通のコンセプトであり、お客様とともに様々な課題解決を図ることで、社会に貢献できればと思っています。

片山取締役：当社の主要製品である脱水機、ろ過機、ポンプを対象とした新しい技術の開発も大事ですが、それ以外の少し違うところで何か製品を作り出し、将来に向けて新しく市場を広げていくことが、今後の命題だと考えています。

三野技術本部長：これからの時代は、IoTなどの情報技術を取り入れて、柔軟な発想で開発を進めていくことも重要だと考えています。また、水環境インフラにおいては、創エネの発想も大事になってきていますので、脱水汚泥の有効利用も考えた、新しいシステムをお客様に提案できればと思っています。

理事長：本日は素晴らしいお話をありがとうございました。これからも是非、新しい技術の開発を進めて頂き、お客様とともに繁栄する会社として、益々発展し、ご活躍されることを大いに期待しております。



インタビューを終えて記念撮影
(左から 三野技術本部長、片山取締役、大津理事長、山下取締役)

インタビューを終えて

「信頼に技術で応える」ことを企業理念として、製品の開発・納入・アフターサービスなどの全ての面で、お客様からの信頼を得ることを第一に考え、新技術の開発に取り組む株式会社石垣の強みと成長性を感じ取ることができる、素晴らしいインタビューとなりました。

かがわ産業支援財団が創業者の夢を開業までサポート 令和元年度「かがわ創業塾」を開催!

KISF 公益財団法人 かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION
https://www.kagawa-isf.jp



公益財団法人かがわ産業支援財団では、香川県からの補助を受け、県内での創業を支援するため、令和元年度の「かがわ創業塾」を開講します。

創業に必要な知識やノウハウを、講義を通じて体系的に習得しながら、先輩創業者と交流し、創業計画書を実際に作成していくカリキュラムを組むことで、創業したい方の夢が形になるよう応援します。講師は、中小企業の経営相談に対応している経営・マーケティング等の専門家等であり、相談事例も交えた実践的な講義を行います。そして、塾開催中だけでなく、終了後もこれらの専門家等が無料で相談に対応するなど、創業に向けて当財団が万全のサポートをしていきます。

日時 令和元年7月3日(水)、7月12日(金)、19日(金)、26日(金)、8月2日(金)

- 受講者は、原則として、5日間すべて受講していただきます。
- 5日間すべて受講いただいた方には修了証*を発行します。
※修了証は香川県の「起業等スタートアップ支援補助金」における補助対象要件にできます。

場所 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室(高松市林町2217-15)

内容 講義、演習指導は、すべて当財団で経営等の相談に対応している中小企業診断士等の専門家等が行います。

受講料 無料(塾終了後の相談も無料でお受けします)



令和元年度 かがわ創業塾カリキュラム

日	時間	内容	講師
7月3日(水)	13:00~13:10	開講式	
	13:10~15:00	創業の心構え 創業の意義、留意点等総論的講義	■中小企業診断士 筒井 恵氏
	15:10~17:00	先輩に学ぶ 先輩創業者の体験談、意見交換等	■水の葉設計社 代表 中野 弘嗣氏 ■株式会社六花 代表取締役 大山 佳子氏
	17:20~18:30	交流会(会費制、受講生自由参加)	
7月12日(金)	13:00~14:55	事業のコンセプトづくり SWOT分析の手法、営業戦略等の策定等	■中小企業診断士 川上 実氏
	15:05~17:00	創業に関する基礎知識(財務編) 財務処理の基礎、税金、資金調達、補助金等支援制度、設備投資等	■(有)アトムビジネスコンサルタント 代表取締役 香川 雅俊氏
7月19日(金)	13:00~14:55	創業に関する基礎知識(販売促進編) ホームページ、チラシ等による効果的な情報発信等	■ITコーディネータ 水本 規代氏
	15:05~17:00	創業計画の策定 策定の目的、フォーマット説明、売上げ・コスト構成等理解等	■中小企業診断士 川上 実氏
7月26日(金)	13:00~14:55	創業に関する基礎知識(マーケティング編) 商品開発、ターゲット設定、販路開拓・営業戦略、集客手段等	■マーケティングプランナー 豊田 浩伸氏
	15:05~17:00	創業に関する基礎知識(労務編) 労務管理、労働保険・社会保険等	■中小企業診断士・社会保険労務士 笠居 昭司氏
8月2日(金)	13:00~16:50	創業計画策定演習 創業計画書策定の演習 策定後、指導者による評価等	■中小企業診断士 笠居 昭司氏・川上 実氏 筒井 恵氏・柴田 直美氏
	16:50~17:00	閉講式(修了証授与等)	

平成27年から開催している「かがわ創業塾」も、今年で5年目を迎えました。

過去4年間で177名の方に受講いただき、104名の方が修了され、実際に40名の方が創業されています。

- 1年目(H27年) 夏季 受講者数 23名 修了者数 11名(全5回出席) 創業者 6名
- 1年目(H27年) 秋季 受講者数 33名 修了者数 19名(全5回出席) 創業者 3名
- 2年目(H28年) 受講者数 34名 修了者数 24名(全5回出席) 創業者11名
- 3年目(H29年) 受講者数 53名 修了者数 32名(全5回出席) 創業者 9名
- 4年目(H30年) 受講者数 34名 修了者数 18名(全5回出席) 創業者11名

受講者に対する講義の満足度調査でも、5段階評価で4以上の割合がトータルで約85%と、高い評価をいただいております。今後とも、受講者の皆様にご満足いただけるよう、魅力ある内容で塾を開講していきます。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

香川県よろず支援拠点が新体制で再スタート!

香川県よろず支援拠点では、経営、創業、商品開発、補助金活用などをはじめとした相談業務を行っており、さまざまな業種の事業者や起業を考えている方など、たくさんの方々にご利用いただいています。

この度、新しいチーフコーディネーターとして香川雅俊氏が着任し、新メンバーも加わり、6月から新体制で再スタートしています。また、当拠点がある香川産業頭脳化センタービル以外にも、コーディネーターによる出張相談が行えるサテライトを県内6か所に設置しておりますので、経営のお困りごとがございましたら、分野にかかわらず、当拠点またはお近くのサテライトをお気軽にご利用ください。

コーディネーター(専門家)等の紹介

「よろず支援拠点」は国が全国に設置する経営相談所です。



香川 雅俊
カガワ マサトシ

【チーフコーディネーター】



豊田 浩伸
トヨタ ヒロノブ

【サブチーフコーディネーター】



梅澤 秀樹
ウメザワ ヒデキ

【経営・金融】



柴田 直美
シバタ ナオミ

【経営・創業・IT】



笠居 昭司
カサイ ショウジ

【経営全般】



川上 実
カワカミ ミノル

【経営全般】



竹内 哲也
タケウチ テツヤ

【商品開発・販路開拓】



三木 良子
ミキ リョウコ

【広報PR・海外】



仁田 春奈
ニッタ ハルナ

【ウェブ・デザイン】



岩倉 望
イワクラ ノゾミ

【ウェブ・デザイン・IT】



水本 規代
ミズモト ミヨ

【IT活用・生産管理】



新居 照代
ニイオリ テルヨ

《経営相談支援員》

創業・起業サポート

中小企業診断士等の専門家が創業プランや資金計画などをお手伝い。

経営相談

経営理念、経営戦略、事業承継など経営に関する相談をお受けします。

金融相談

資金計画、資金繰り表の作り方など金融に関するアドバイスを行います。

販路開拓・商品開発

段階に応じたマーケティング支援、新商品の開発など幅広く支援します。

補助金活用・支援機関

ためになる補助金の活用や課題に応じた他機関(大学含む)などのご紹介。

IT・デザイン・広報

チラシデザインからITまで幅広く対応。PRや広報のノウハウも伝授。



香川県よろず支援拠点 | 利用時間 | 平日 8:30~17:15

087-868-6090 事前予約制

〒761-0301 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F

FAX:087-869-3710 MAIL:yorozu@kagawa-isf.jp

URL <http://www.kagawa-isf.jp/yorozu/>

※「香川県よろず支援拠点」は、公益財団法人かがわ産業支援財団が実施機関となって運営しています。

※右記QRコードよりご覧いただけます



県内6か所にサテライトを設置、月1~2回出張相談を行っています。

三豊サテライト

三豊市危機管理センター1階
三豊市商工会(インパルみの)

TEL:0875-73-3012 (三豊市 産業政策課)

東かがわサテライト

東かがわ市役所2階 相談室

TEL:0879-26-1276 (東かがわ市 地域創生課)

小豆島サテライト

小豆島町役場本館1階 打合室1

TEL:0879-82-7021 (小豆島町 商工観光課)

丸亀サテライト

丸亀市保健福祉センター(ひまわりセンター)4階

TEL:0877-24-8844 (丸亀市 産業観光課)

まんのうサテライト

まんのう町商工会館1階 相談室

TEL:0877-73-0106 (まんのう町 企画観光課)

TEL:0877-73-3711 (まんのう町商工会)

観音寺サテライト

観音寺市役所内相談室

TEL:0875-23-3933 (観音寺市 商工観光課)

開催日程など詳細に関しましては、各サテライトへお問い合わせください。※事前予約制

かがわ産業支援財団では助成メニューのひとつに、農林漁業者と中小企業者が連携体を組み、新商品開発や販売力強化などを支援する「かがわ農商工連携ファンド事業」を設けています。その事業で誕生した商品ストーリーをご紹介します。



商品名 ゴミョウレザー **GOMYO LEATHER**

企業名 ごしき さと **五色の里**
東かがわ市五名1850 TEL.090-2594-9233 (西尾)

ファンド事業データ 採 択:平成28年度
事業名:里山保全の捕獲猪を活用した皮革製品の開発と販路開拓
連携体:中小企業者:round.(高松市)
農林漁業者:五色の里(東かがわ市)

「五色の里」は東かがわ市五名^{ごみょう}の山間部で農業と林業を営んでいる。平成5年頃から猪が畑を荒らすようになり、農作物の被害が深刻化したことがこの事業のきっかけだった。地元猟師による害獣駆除が始まり、捕獲した猪は解体して肉を販売。狩猟は経費がかかるため、猟師の数は一向に増えないのが悩みだった。そこで、当初は廃棄していた猪の皮を皮革製品にすることで「少しでも害獣駆除にかかる経費を確保し、農家の売上げを伸ばしたい」と考えた。賛同したのは皮革製品を製作しているround.だった。猪革の扱いは初めてだったが、香川県産の革に興味を寄せ、平成28年4月から2年間、連携して五名の猪革製品を開発することになった。

もっとも大変だったのは、猪皮^{なめ}を鞣す作業だった。猪革に精通した鞣職人などいないため、性質がよく似ている豚革の経験がある姫路の職人に発注し、何度も何度も試作を重ねた。皮の鞣しまでを農家が担当し、財布や名刺入れ、バッグなど、製作はround.が一点一点、ていねいに仕上げた。ブランド名を「ゴミョウレザーGOMYO LEATHER」とし、平成30年から注文販売を開始。東かがわ市のふるさと納税の返礼品としても注目されている。

第11期 (追加募集)

かがわ農商工連携ファンドの支援対象事業が決定しました!!

財団では総額28億円の「かがわ農商工連携ファンド」を造成し、その運用益で、県内の農林漁業者と中小企業者が連携・協力して行う新商品開発等を支援しています。

平成31年3月14日から4月26日まで第11期事業の追加募集をしたところ、計4件の申請があり、審査の結果、次の4件が支援対象事業に決定しました。

○新商品等開発支援事業

採択1件(申請1件)

事業名	連携体事業者	採択額(千円)
香川県産魚を使ったレトルト及びスモーク練り製品の開発と販路開拓	株式会社おがた食研【坂出市】 四海漁業協同組合【土庄町】	4,000

○販売力強化・ブランド化支援事業

採択3件(申請3件)

事業名	連携体事業者	採択額(千円)
小豆島産の生姜を用いたジンジャーシロップ、ジンジャードレッシングの販路拡大とブランディング	株式会社高橋商店【小豆島町】 HOMEMAKERS【土庄町】	1,000
粉末桑茶『さぬきの桑茶』のブランド強化PR及び販売促進	有限会社西森園【高松市】 JA香川県四国大川女性部桑加工研究グループ【さぬき市】	1,000
「らりるれロメインレタス」を使用した天ぷらのPRと販売力強化	福弥蒲鉾株式会社【観音寺市】 株式会社土緑家【観音寺市】	1,000

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

株式会社佐竹技研 (高松市)

テーマ ドローン(無人機)開発による新規事業の創出

背景・目的

現在注目されているドローンには飛行する形式だけではなく、狭い空間に進入できる走行ドローン、水上・水中を調査できる船舶ドローンなど、様々なものがありますが、現在のところ飛行するドローンのみが認知、普及されています。

新しいドローン活躍の場として、インフラ点検・調査が注目されていますが、市販されているドローンでは作業効率や信頼性において、不十分な面があります。

そこでインフラ点検・調査に特化した陸・海・空のドローンを開発することで新規事業の創出に繋げようと考えました。

事業内容と成果

飛行ドローンは、有線給電(自社商品。地上から電力を送ってドローンを長時間飛行させる技術)装置をインフラ点検・調査向けへと改良しました。地上とドローンを繋ぐ電力ケーブルには作業現場の要望から、自動で送り出し・巻き戻しする機能を追加して効率化に対応することができました。またドローンの信頼性の向上のため、第三者機関において高温破壊試験を行い、更なる改良のデータを取得しました。

走行ドローンは、飛行ドローンの機器、技術を流用してコンパクト化を図り、作業員一人でも持ち運べるサイズ・重さにしました。現在、地下道における測量業務への使用を計画中です。

船舶ドローンは、他のドローンでは困難な水面付近の点検が行えますが、実験において、海上の波風に影響を受けやすいことが判明しました。今後は問題を解決して製品化を予定しています。



飛行ドローン



走行ドローン



船舶ドローン

日本メディカル株式会社 (高松市)

テーマ

ユニバーサルデザインの視点から開発された 人にやさしい
介護記録システム(商品名: CareWorkers(ケアワーカーズ))を開発

背景・目的

超高齢化社会を迎え、介護現場では介護人材不足が急速に進み、2025年には34万人(厚生労働省推計)不足するともわれています。人材確保のため、今年4月からは新しい在留資格「特定技能」が創設され、香川県でもインドネシア、フィリピン等からの外国人スタッフの増加が見込まれています。

一方で、様々な職種の多様なスタッフがチームで関わる介護現場では、円滑な情報共有と限られた人材を如何に有効に活用するかも課題です。スタッフが直接担う介護サービスの記録作成は、手書き作業のため大きな負担となっている場合が多く見られます。そこで、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、外国人を含む介護現場のすべてのスタッフが簡単に利用できる操作性・利便性を最優先した情報システムを開発、活用することで、介護業務の効率化と省力化を図ります。

事業内容と成果

事業名:ユニバーサルデザインの視点からの人に優しい介護記録システムの開発と機能検証

商品名: CareWorkers(ケアワーカーズ)

成果: ① すべての人に優しいインターフェースで誰でも「かんたん入力」
② 「5か国語対応」
(日本語、英語、ベトナム語、インドネシア語、フィリピン語)
③ スタッフみんなで入力、リアルタイムで「情報共有」
④ 施設の運営スタイルに応じた柔軟な「カスタマイズ」
⑤ 特別なアプリ不要、らくらく運用の「クラウドサービス」
⑥ ケアプランの達成状況も表示され、実地指導も「ペーパーレス」で！
介護スタッフ全員が容易に利用できるよう開発した入所型介護施設向けの介護記録システムです。



お知らせ

新かがわ中小企業応援ファンド等事業・かがわ農商工連携ファンド事業の
新商品発表会を開催します!!

開催日時:7月31日(水)13:00~16:00 場所:サンメッセ香川 小展示場

機能性表示食品に挑戦しませんか

「機能性表示食品」って何？

自社の製品(食品)の機能性を表示したい!どの食品にどんな機能性があるのか知りたい!
 このような機能性の表示ができる食品は「保健機能食品」と呼ばれ、次の3種類があります。



特定保健用食品

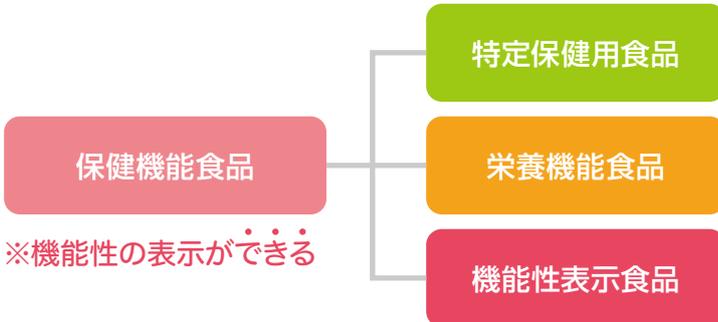
健康の維持増進が科学的根拠に基づいて「コレステロールの吸収を抑える」などの表示が許可されている食品です。(通常、「トクホ」と呼ばれている食品)

栄養機能食品

一日に必要な栄養成分(ビタミン、ミネラルなど)が不足しがちな場合、その補給・補完のために利用できる食品です。

機能性表示食品

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品ですが、特定保健用食品とは異なり、消費者庁長官の個別の許可を受けたものではありません。



機能性表示食品の販売に必要な手続き

下記の事項を全て満たしたうえで消費者庁に届出を行います。

販売開始予定日の60日前までに、届出書等を不備なく届け出る必要があります。

- 機能性表示食品の対象となるか(医薬品、トクホ、栄養機能食品ではない)を判断する。
- 販売する食品の安全性の根拠を明確にする。
- 生産・製造及び品質管理体制を整える。
- 販売する食品の健康被害の情報収集体制を整える。
- 表示する機能性の根拠を明確にする。
- 適正な表示を行う。

「機能性表示食品」制度は、消費者の「自主的かつ合理的な商品選択の機会の確保」を促す制度です。事業者の方は制度の正しい理解に基づいて、消費者の誤解を招かない情報提供を、責任を持って行う必要があります。

かがわ産業支援財団は機能性表示食品の取り組みを支援します。

【これまでの届出状況】

機能性表示食品制度は平成27年4月に開始され、平成30年度末までに届出され受理された食品は2,000件余りありますが、大企業の製品が多く、中小企業者等の方々には依然としてハードルが高い状況にあります。

このため、当財団では制度開始直後に、専門アドバイザー2名を配置して、「新機能性表示食品相談センター」を開設し、機能性表示食品届出に関する次の支援を実施しています。

- ※新制度活用の可能性、活用方法について、県内学術・研究機関と連携し、検討段階から専門の事項のご相談に対応します。(無料)
- ※表示する機能性の科学的根拠を説明する研究レビュー(SR)を含め、届出書類作成等の業務を委託(有料)により実施します。届出後の消費者庁からの差し戻しコメントにも対応します。

なお、香川県では機能性表示食品届出に要する経費の補助制度があります。

現在、県補助制度の活用及び当財団の支援を受けて届出し、機能性表示食品として販売されている製品は下表の3商品です。

いずれも県特産物を利用した製品で、オリーブオイルは全国初の機能性表示食品です。

商品名	大麦パンケーキミックス	蒸し大麦	エキストラヴァージンオリーブオイル プラチナラベル小豆島産
届出日	平成30年12月15日	平成30年12月21日	平成30年12月26日
事業者名	吉原食糧(株)	(株)山清	小豆島ヘルシーランド(株)
機能性関与成分	大麦β-グルカン	大麦β-グルカン	オリーブオイルポリフェノール
機能性内容	食後血糖値上昇抑制	食後血糖値上昇抑制	血中LDLコレステロール酸化抑制
			

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究管理課
高松市林町2217-43 RISTかがわ 1F TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3411

第7回 希少糖戦略会議が開催されました



香川県では「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクト推進のため、希少糖の研究成果が一大産業につながるよう、産学官関係者と連携し、研究開発から生産・販売に至るまで総合的な対策を実施するための情報交換・検討を行う「希少糖戦略会議」を定期的に開催しています。

第7回希少糖戦略会議が、6月5日(水)に香川県庁で開催されました。会議では、D-ブシコース(アルロース)の北米での展開や米国食品医薬品局(FDA)による栄養表示に関する指針の発表(※)等に関する報告があり、今後の展開について議論が交わされました。

(※)4月17日(日本時間4月18日)に米国食品医薬品局(FDA)から示された米国の栄養表示基準指針により、D-ブシコース(アルロース)は、米国学術表示上のカロリー値が0.4kcal/gとなり、糖類(Total Sugars)及び添加糖類(Added Sugars)から除外されることが提言されました。

県内の小学校で希少糖出前講座を開催します

香川県では、県産食材の魅力を消費者等に伝えるため、県内の小中学校、高等学校の児童生徒等を対象に、生産者や流通業者、料理人などの食の専門家『うまいもん広め隊』による出前講座を実施しています。

今年度は「オリーブ」「オリーブ牛」「オリーブ豚・オリーブ豚」「オリーブ地鶏」「さぬき讃フルーツ」「瀬戸の地魚」「さぬきの味付け」「希少糖」「おいでまい」の9隊で活動します。

昨年度、「希少糖広め隊」は小学校での出前講座を実施し、講義や希少糖入り食品の試食を通じて、希少糖の特徴を学んでいただきました。今年度も香川が誇る希少糖への理解を深めてもらえるよう活動してまいります。



平成30年度 希少糖出前講座



希少糖出前講座での調理実習



令和元年度「うまいもん広め隊」委嘱状交付式

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川 1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

(公財) かがわ産業支援財団からの入居施設のご案内

ネクスト香川 インキュベート工房

新たな事業分野の開拓を目指す方や起業間もない方に企画開発、事業化推進のためのスペースを提供します。初期費用を抑えつつ、短期から長期まで、入居希望者のニーズに応じた利用が可能です。



施設概要

所在地: 香川県高松市林町2217-44
(高松中央ICから車で約2分)
その他: 来客駐車場、大大会議室完備

入居料等(消費税込み)

- 賃料は月額: 1,540円/㎡(5年目まで)、1,840円/㎡(5年目以降)
- 敷金不要、共益費なし

工房概要

- 64.65㎡~137.13㎡までの全11室
- 24時間365日施設利用可能
- 冷暖房完備、機械警備システム
- 1室あたり駐車場2~4台分無料

香川産業頭脳化センタービル(オフィスビル)

創業や新たな事業化を目指す方等を対象とした「貸オフィス」です。また、入居者の方は、ビル内の会議室、研修室を2割引きでご利用になれます。



施設概要

所在地: 香川県高松市林町2217-15
(高松中央ICから車で約2分)
その他: 来客駐車場、各種会議室等完備

入居料等(消費税込み)

区分	インキュベータールーム※	リサーチルーム	ITスクエア※
賃料	月額 1,620円/㎡	月額 2,592円/㎡	月額 20,570円
共益費	月額 1,080円/㎡		なし
敷金	なし	賃料の3か月分	なし

※は、創業期の方対象。

貸室概要

- 18㎡~324㎡までの37室
- 6.5㎡のITスクエア11室
- 全室OAフロア
- 24時間365日施設利用可能
- 冷暖房完備、機械警備システム
- 貸室約25㎡あたり駐車場1台分無料

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部施設管理課
高松市林町2217-15 URL: <http://www.kagawa-isf.jp>

TEL.087-869-3700

新かがわ中小企業応援ファンド等事業 令和元年度 後期事業を募集しています

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の令和元年度後期事業として、新分野進出のための商品開発等の事業及び県外への販路開拓を目的とした事業を募集しています。

【募集メニュー等】

新分野等チャレンジ支援事業

県内の中小企業者が取り組む新分野進出のための商品・技術開発や市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証試験などを支援します。

- 助成対象者** 県内に主たる事務所・事業所を有する中小企業者
- 助成率・額** 2/3以内、50万円以上100万円以下
- 採択予定件数** 8件程度
- 募集期間** 令和元年6月7日(金)~8月2日(金)必着
- 申込先** 公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課 TEL.087-840-0338

県外見本市出展支援事業

販路開拓等を目的として、自社で開発した新製品、新サービス、新技術を基に新たな事業展開を目指す中小企業者等に対し、県外で開催される見本市への出展を支援します。

- 助成対象者**
 - 県内に主たる事務所・事業所を有する中小企業者
 - 上記要件を満たす複数の者が共同して出展する場合の複数企業又は団体
- 助成額** 基本小間(1小間分に限る)の借上料、基本設営及び装飾費 1件につき35万円を上限
- 採択予定件数** 13件程度
- 募集期間** 令和元年6月7日(金)~8月2日(金)必着
- 申込先** 公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課 TEL.087-868-9904

【応募方法】

応募にあたっては、所定の申請書様式と添付書類に必要事項を記載のうえ、各支援メニュー記載の申込先に提出してください。申請書様式等は、公益財団法人かがわ産業支援財団のホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp/>)からダウンロードできます。

【助成の対象となる事業の決定】

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定します。申請者は審査会で事業説明(プレゼンテーション)を行っていただきます。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

令和元年度 高度産業人材育成事業(IT研修)のご案内

当財団では、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」として、地域産業の技術の高度化を支援するため、高度産業人材育成事業を実施しています。

その一環として、今年度は情報処理技術者を主な対象とした、マネジメント系「プロジェクトの計画とコントロール」「プロジェクトマネジメント演習」「デザイン思考と企業事例」、システム上流の「業務分析設計概説」、プログラム系「JavaScript」「Python プログラミング」のコースのほか、専門技術者以外の方にも役立つ、「人工知能入門・実践講座」「初めてのxR(VR, AR, MR)入門講座」のコースを設けていますので、多数の方のご参加をお待ちしております。

コース区分	コース名	定員	日数	研修内容	受講料 教材費 (税込)円	受講対象者	実施時期	会場	
マネジメント	① プロジェクトマネジメント								
	M011	「プロジェクトマネジメントの計画とコントロール」 筑波大学 准教授 木野 泰伸 氏	20	2日	企業・組織・個人の目標を達成するための、プロジェクトマネジメントの方法を体系的に学ぶ。この半世紀に世界で蓄積されてきた「モダンPM」の内容を、具体的に分かりやすく解説する。身近なプロジェクトに使えるようになるのが目的である。	3,000	興味のある方全て	7月29日(月) 7月30日(火)	専門 研修室
	M012	「プロジェクトマネジメント演習」 筑波大学 准教授 木野 泰伸 氏	10	3日	だれにでもわかる簡単なケースを用いて、プロジェクトマネジメントを体験的に学ぶ。参加者がチームを編成して事例演習を行うことで、世界共通のモダンPMの進め方が体得できる。	5,000	「プロジェクトの計画とコントロール」を受講している方、もしくは同程度の知識を持っている方。	10月7日(月) 10月8日(火) 10月9日(水)	ネクスト 3F 大会議室
マネジメント	② デザイン思考								
	M021	「デザイン思考と企業事例」 香川大学 創造工学部教授 大場 晴夫 氏	20	2日	デザイン思考ということばを聞くが増えている。デザイン思考は、デザイナーだけの思考様式のように聞こえるが、実際は、ビジネスやエンジニアリングなど、あらゆる世界で応用され、企業でも導入するケースが増加している。このデザイン思考とは何か、どのような手法とプロセスなのか、また問題の種類によって適した活用方法などを、実際の企業における事例を通して紹介する。 ● 企業におけるデザイン部門の紹介 ● デザイン思考の2つのプロセスと手法の理解 ● デザイン思考の事例紹介 1. 改善・改良型のデザイン思考事例紹介 2. イノベーション型のデザイン思考事例紹介	3,000	興味のある方全て	8月22日(木) 8月23日(金)	専門 研修室
システム上流(分析)	③ 業務分析設計概説								
	E031	「業務分析設計概説」 ～システム開発における要件定義のまとめ方～ NPO法人 ITCかがわ 会長 中庭 正人 氏 NPO法人 ITCかがわ 理事 塚本 浩二 氏	15	2日	システム開発の上流工程において、全体最適な視点での業務要件、システム要件を導き出す技法を学ぶ。顧客と関係を構築し、必要な情報を引き出すなど、システム要件に必要なコミュニケーション手法を学ぶ。	受講料 3,000 教材費 2,000	対象:システム開発で顧客要件の定義作業に携わる必要がある方。 前提知識:システム開発工程の全体像に関する知識のある方。	11月14日(木) 11月15日(金)	専門 研修室
システム下流(プログラミング)	④ アプリケーション開発								
	E041	「JavaScript」 香川大学 創造工学部 准教授 香川 考司 氏	15	2日	● JavaScriptの概要 ● JavaScriptの文法・制御構造・関数 ● JavaScriptによるDOMの操作 ● JavaScript API(Ajax, Canvas, WebStorage, ...) ● JavaScript上のライブラリー ● ジェネレーター、非同期関数	3,000	何らかの言語でプログラミング経験のある方。 ※パソコンの持込みが必要(普段、使用しているPCであれば、問題ありません。)	9月3日(火) 9月4日(水)	専門 研修室
	E042	「Python プログラミング」 香川大学 名誉教授 本田 道夫 氏	15	2日	● Python と Anaconda ● コマンドプロンプト画面でのPython の利用 ● Python の言語説明 ● 数値、文字列、変数 ● リスト、タプル、辞書、集合 ● プログラムの制御構造、関数 ● モジュール、パッケージ、プログラム ● クラスとオブジェクト ● ファイル入出力 ● ライブラリの利用 ● グラフ描画 ● NumPy ライブラリーによる配列操作	3,000	C、C++、C#、Javaなどのプログラミング言語のいずれかを知っていることが望ましい。 ※パソコンの持込みが必要(仕様としては、Pythonとライブラリーが豊富なAnacondaなどを入れるため6GB程度の空きがCドライブに必要)	7月8日(月) 7月9日(火)	専門 研修室
ソフトウェア	⑤ 人工知能								
	S051	「人工知能入門・実践講座」 早稲田大学 澤田教授研究室 臺原 学 氏、橋本 尚輝 氏、光武 弘輝 氏	15	2日	受講生の持込みPCにテンソルフローなどの開発環境をインストールし、研修・自主学習を通じて、Deep Learningのプログラミングと活用事例を学ぶ。 ● 受講生のPCへのディープラーニング開発環境の設定 ● 実際の課題についてのプログラミング ● ニューラルネットワークの原理、数学的基礎、ディープラーニングへの展開に関するレクチャー ● 機械学習の事例紹介	3,000	Pythonの基礎知識をお持ちの方。 ※パソコンの持込みが必要(NVIDIAのGPU(グラフィックボード)を搭載していること)	8月27日(火) 8月28日(水)	専門 研修室
	⑥ xR(VR, AR, MR)								
S061	「初めてのxR(VR, AR, MR)入門講座」 青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング 特任研究員 小野 好之 氏	15	1日	エンタメから産業応用まで幅広い分野で注目されているxR(VR, AR, MR)の入門コース。実際に体験をした上で簡単なコンテンツ作成の実習を行う。 ● xR(VR, AR, MR)とは ● xRの応用分野と事例紹介 ● Oculus RiftによるVR体験 ● ARコンテンツの作成実習 ● グループワークショップ	2,000	VR, ARに関心があるエンジニア、商品・事業企画担当者 実習ではProcessingとArduinoを使った簡単なプログラミングを行うが初心者でも可。	10月18日(金)	専門 研修室	

【お申込み方法】

受講申込書は当財団ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.kagawa-isf.jp/)

- 受講開始日の2週間前まで、先着順にて受付めます。
- 各コースとも定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
- 「受講申込書」に必要事項をご記入の上、郵送、FAX、e-mailまたは窓口にご持参ください。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710

スタートアップ支援補助金の2次募集をしています

起業等スタートアップ支援補助金(先端技術活用型)2次募集

県内における創業、第二創業又は第二創業につながるような新たな分野への進出を促進し、県経済の活性化を図ることを目的に、県内で創業等を行う者に対して、創業等に必要経費の一部を補助します。

- 補助事業** 次の先端技術を活用した事業
①CNF等高機能素材、②3D積層造形技術、
③ロボット技術、④ICT、IoT、AI等
- 補助対象者** 令和2年1月31日までに県内で、創業、第二創業及び新分野進出を行う者
- 補助率・額** 1/2以内、500万円以下
- 採択件数** 予算の範囲内

起業等スタートアップ支援補助金(地域課題解決型)2次募集

県内における社会的事業における効果的な起業を促進し、地域の諸課題の解決を通じた地域活力の向上を図ることを目的に、県内で創業する者に対して、その初期投資に必要な経費の一部を補助します。

- 補助事業** 地域活性化関連、子育て支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、地域の課題の解決に資する事業で本県の地域社会が抱える課題の解決に資する事業
- 補助率・額** 1/2以内、200万円以下
- 採択件数** 予算の範囲内

募集期間 令和元年6月14日(金)～7月22日(月)

募集方法 応募にあたっては、所定の申請様式と添付書類に必要事項を記載し、必要な証明書を添付して、提出してください。

申込先 公益財団法人かがわ産業支援財団総務部企画情報課 TEL.087-868-9901

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710

「かがわ知財経営塾」を開催します

知的財産の活用により企業競争力の強化を促進するため、日本弁理士会の協力を得て、知的財産の活用に関心のある経営者(陣)を主な対象として、知的財産の活用について、中国経済産業局が作成した「もうけの花道」を題材として、わかりやすい内容のワークショップセミナー形式で開催します。

受講料は無料ですので、お気軽にお申し込みください。受講者は30名で、原則5回全ての講義を受講される方を優先します。

	開催日	開催場所	テーマ	講師	定員
第1回	10月1日(火) 13:30～15:30	香川産業 頭脳化センター 1F 専門研修室	知的財産を経営に活かす! 「特許の活用」	ディスプロ株式会社 代表取締役社長 桑原 良弘 氏	30名
第2回	10月8日(火) 13:30～15:30		知的財産を経営に活かす! 「意匠・商標の活用」	CP JAPAN 総合特許事務所 広島オフィス 弁理士 田中 咲江 氏	30名
第3回	10月15日(火) 13:30～15:30		知的財産を経営に活かす! 「多様な知的財産の活用」	かわすみ特許商標事務所 所長・弁理士 川角 栄二 氏	30名
第4回	10月29日(火) 13:30～15:30		知的財産を経営に活かす! 「オープン・クローズ戦略」	松本特許事務所 所長・弁理士 松本 文彦 氏	30名
第5回	11月5日(火) 13:30～15:30		知的財産を経営に活かす! 「トラブル防止・グローバル展開に備える」	三原・信末特許事務所 所長・弁理士 信末 孝之 氏	30名

「知財マッチング in かがわ2019」を開催します

大企業等が保有する開放特許の活用を通じて、県内企業の新商品開発や新たな事業展開を促進するため、「知財マッチング in かがわ2019」を開催します。今年度は、機械・電気・加工分野に加え、食品分野のシーズも追加しました。

開放特許等を保有する大企業等に協力いただき、それぞれ自社の開放特許の紹介及びパネル展示を行うとともに、事前に予約された企業の方と個別面談を行います。

また、併せて、開放特許を活用したビジネス展開を支援しているコスモス特許事務所の富澤 正弁理士による知財マッチングセミナー「開放特許の活用でビジネスチャンスをつかむ」を開催します。

日時 令和元年11月13日(水)10:00～16:00

場所 サンメッセ香川 2F サンメッセホール(パネル展示、個別面談)
サンメッセ香川 2F 中会議室(大企業等のシーズ紹介、講演)

「新たな事業を展開したい」、「優れた新商品を低コスト・短時間で作りたい」などと、お考えの県内企業は、お申し込みください。

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

知的財産セミナーを開催します

★知的財産をビジネスに活かしませんか！

香川県内の創業者や中小企業等の方々が、知的財産の重要性や活用についての関心・意識を高め、知的財産を活用することにより、企業競争力の強化に繋げていくため、身近な事例などを交えながら、地域に密着した知的財産に関するセミナーを開催します。受講料は、無料ですので、お気軽にお申し込みください。

	開催日	開催場所	テーマ	講師	定員
1	7月11日(木) 14:00~16:00	香川産業頭脳化センター 1F 専門研修室	企業価値を高めるブランド戦略 事業化を考える中で、ブランド確立やその保護により、他社と差別化を図る必要がある。自社の経営課題を認識し、その課題解決に適切な手段として知的財産を活用していく方法を学ぶ。	(一財)知的資産活用センター 吉栖 康浩 氏	30名
2	8月2日(金) 14:00~16:00		グッドウィルと企業戦略 商品名や会社名のブランドを保護し、営業対象である商品に商標を使用することにより、グッドウィルが商標と一体化し、商標の財産的価値が高まる手法を学ぶ。	(一財)知的資産活用センター 吉栖 康浩 氏	30名
3	8月27日(火) 13:30~15:30	小豆島町 (小豆島町役場)	小豆島ブランドを世界に! 小豆島の企業が販路開拓をするうえで、様々な知的財産制度を利用しながら、どのような問題意識をもち、どのような活動を行う必要があるのかを学ぶ。	レクシア特許法律事務所 弁護士・弁理士 山田 威一郎 氏	30名
4	9月12日(木) 14:00~16:00	香川産業頭脳化センター 1F 専門研修室	デザインによるイノベーション創出 商品の開発力がイノベーションの源泉であり、企業の技術力が競争力の重要な要素であるが、近年は、技術のみならず商品デザインの秀逸さで競争優位に立つ事例がある。技術+デザインでブランド形成をしている事例紹介を行い、デザイン活用方法を学ぶ。	明和総合特許デザイン事務所 弁理士 藤掛 宗則 氏	30名
5	10月11日(金) 14:00~16:00		ホントは怖い著作権 ～ネット時代の落とし穴～ 著作物の定義とウェブサイトの著作権を紹介する。インターネット上の様々なコンテンツは殆どが著作物であるため、著作権のトラブルを発生しやすく未然に防ぐための対策について学ぶ。	株式会社ループホール 弁理士 城田 晴栄 氏	30名
6	12月3日(火) 14:00~16:00		守りの農業から攻めの農業へ ～農業知的財産セミナー～ 農林水産業・食品産業に関する知的財産について、ブランド戦略に関する事例を中心として農林水産分野における知的財産の保護や活用方法について学ぶ。	東京理科大学 薬学士 生越 由美 氏	30名

「中小企業等外国出願支援事業」募集のお知らせ

内容 中小企業等の外国出願(特許、実用新案、意匠、商標、冒認対策商標)にかかる費用の一部を助成します。

募集期間 令和元年10月31日まで(1次締切:7月8日、2次締切:9月2日、3次締切:10月31日)
(募集期間中であっても、予算額に達した時点で受付を終了します。)

応募資格 香川県内に事業所を有する中小企業者で条件を満たす者。
※条件については、お問い合わせください。
(当財団ホームページにも掲載しています。)

補助金額

- 補助率:1/2以内
- 1企業の上限額:300万円(複数案件の場合)
- 案件ごとの上限額

(● 特許出願:150万円 ● 実用新案、意匠、商標出願:60万円 ● 冒認対策商標出願:30万円)

対象経費 ● 外国特許庁への出願手数料、現地代理人費用、国内代理人費用、翻訳費用(消費税は対象外)
(令和2年2月末までに支払いが完了するものに限り、)
(日本国特許庁への出願に要する経費は対象になりません。)

提出先 公益財団法人かがわ産業支援財団
知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2階
TEL:087-867-9577
FAX:087-867-9365
e-mail:chizai@kagawa-isf.jp

知的財産権制度に関する出前講座を募集します

★香川県内の企業・中学校・高等学校・高等専門学校等へ出向いて、知的財産権制度の出前講座を行います。
開催費用は無料ですので、お気軽にお申し込みください。

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-867-9577 FAX.087-867-9365

かがわ発! 元気 創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発! 元気創出企業」。
今回は、さぬき市にある「株式会社ダイコープロダクト」を訪ねました。



展示会のブースそのままの「SoH」の展示スペース。実際に店頭で陳列する際のイメージも伝わるように



消防用の手袋などは特殊な素材を縫い合わせることも多く、細かな調整が必要。一人前になるまで3年のはかるとい

手袋と袋物で築いた「技術」と 地元デザイナーが持つ「視点」で ファクトリーブランドが躍進する

社屋をリノベーションした際に新設しショールームにはオリジナルデザインの商品が並ぶ



「株式会社ダイコープロダクト」は手袋と袋物を中心とした、ものづくり企業。1963年に創業して以来、1998年まではOEM事業のみ手掛けてきたという。その後、OEM事業と並行して「BULLRESCUE」「stairs design products」「SoH」、次々と3つのオリジナルブランドを立ち上げた同社。ファクトリーブランドならではの技術力を活かし、地元のデザイナーとコラボしながら新たな商品を開発する。これらのオリジナルブランドに対する思いや今後の展開について川北代表取締役にお話を伺った。

2つの主力事業を活かし、 専門性の高い商品を生み出す

ダイコープロダクトでは、手袋と袋物のチームに分かれ商品が生み出されている。型抜きと縫い合わせる縫製といった基本的な構造は似ているものの、手袋は曲線の連続であるのに対して、袋物は直線が多くなる。特化しないと作業スピードや品質に違いが出てくるそうだ。「香川県は手袋の産地ということもあり、我々のように2つのジャンルともに力を入れているところは少ない。手袋の本場ではない大川町にあるからできたことです。バッグを縫っている人たちが多かったのも影響している」と川北氏はいう。創業以来長年培ってきた技術と高いクオリティを活かし、オリジナルブランド制作に取り組み始めたのは20年ほど前のことだ。

2001年、初のダイコープロダクトのオリジナルブランドとして消防隊員のさまざまな活動に適した手袋が揃う自社ブランド「BULLRESCUE」を立ち上げた。「このブランドは、消防隊員の方のためだけにあるブランドなんです」と川北さんは語る。自分の命をかけて職場に向かう消防隊員の装備品だからこそ、徹底して機能性にこだわった。素早い動きには薄い革手袋が必要となり、消火活動のときは燃えにくい特殊繊維を使ったもの、水の侵入を完全に防ぐ防水加工など、専門性に特化した商品は、技術力が必要なものばかり。このブランドによって習得した新たな技術を他商品に取り入れるなど、自社ブランドの核となる存在だ。

代表取締役社長
川北 康伸氏

川北さんはもちろん、営業の面々も縫製などをひと通り熟知し、それが営業するうえでも役立っているという



株式会社ダイコープロダクト

代表者 川北 康伸氏
所在地 さぬき市大川町田面17-4
電話番号 0875-43-3566
URL <http://www.daiko-product.com>





「CARD CASE POP/VEGE」。カラフルなカラーリングやイラストなどを手がけたのは地元のデザイナー

独自開発のスライド機能で書類などをパッと取り出すことができる「DOCUMENT FOLDER ZERO」



入社2年目、20歳の型抜き職人。ニット素材などの型抜きを担当する



最年長のベテラン社員さん。長く培った技術と柔和な人柄で同社を支える



素材の搬入から型抜き、縫製、検品、発送と、工程ごとに分けられた工場内。海外工場での生産も行うが、ベースはこの工場。日本国内で生産することで、日本の素材が気軽に使えるなどのメリットがあるという



モノづくりにプラスした クリエイティブのチカラ

現在、自社ブランドは3つ。2010年に生まれたのが、独自の機能とデザインを兼ね備えた「stairs design products」。引っ張り出すと中から等間隔にA4書類やカード類が飛び出す仕組みのドキュメントフォルダーやカードケースなどを展開する。「バッグ事業は季節に関係ない。工場の閑散期対策にもなれば」という思いもあるという。

2017年に立ち上げた「SoH」は、機能性はもちろん、ファッション性を多く取り入れた手袋ブランド。地元の人たちの協力もあり、革手袋の染色技法としては珍しい、縫製した後染色する「製品染め」などのアイテムを作り上げることができた。2019年の新作は、ペイントを施したものや、「BULLRESCUE」で培った3Dラミネーションの技術を活用した保温性の高い手袋。OEMと自社ブランド、両方で築き上げた技術とアイデアを商品として還元することもできるのが自社ブランドの魅力だ。

「ものづくりに関しては、もちろんプロ意識を持ってやっています。しかしながら自社ブランドを展開するには、単純にいいものかっこいいもの、便利なものを作ったからと売れるわけではない。自分たちに足りない部分、見え方や伝え方を一緒に考えてくれるデザイナーさんたちのクリエイティブの力が必要になってくると思いました」と川北さん。デザイナーとのコラボが、社内にもクリエイティブな空気をもたらしている。

ワクワクが向かう先へ オリジナルブランドを育てる

取材に伺ったのは、今夏の展示会に向けて「stairs design products」の新商品づくりが佳境になっていた時期。まだ種明かșiできませんが、と前置きをして、日常シーンやトラベルシーンに使える、訪日する外国人のお土産にもなるようなものだと教えてくれた。初お披露目の場は、3年連続で出展しているインテリアライフスタイル展。「今回は、企画開発から生地選びまで、デザイナーさんの意見を取り入れた。我々にはない違った視点が新鮮で、非常におもしろいですね」と川北さんは笑う。

今後は、消費者の要望をうまく取り入れながら、自社ブランドの海外市場の開拓や商品力を高めていくことに力を入れたいと話す川北さん。「OEM事業に頼りてきていたら、安定した経営が難しかった。それが自社ブランド構築のきっかけではありましたが、ファクトリーからの発信がこれからの時代には必要です。自社ブランドをうまく回すことができれば、利益率の改善や働いている人のステータスを上げることに繋がる」という。

お客様からのオファーによってものづくりするOEM事業と異なり、形のないところから流通に至るまで、全て自社で完結できるのが自社ブランドの魅力。「自分たちの手がけたアイテムが世の中に広まる。それを考えるだけでワクワクしますよね」大変さはもちろんあるという。だが、これまでに培った技術という糧と、そしてワクワク感が次のステップに繋がっていく。

山本 耕治



建設機械製造企業に約40年間在籍。主に、試験・実験・研究・開発に従事。

専門分野は、材料工学(特に金属材料)、流体工学(特に油圧解析、在籍中に流体工学で博士号を取得する。)

趣味は、バドミントン、食べ歩き、九州温泉旅行、(最近、カードマジック)

挑戦と継続、出会いを大切に

油 匠学会の講演がきっかけで、多くの大学の先生との共同研究などの交流が始まり、前職を定年しても、九工大で、「ものづくり」の授業を続けている。「グループ授業で、一方通行の授業はしない。理論だけで終わらせない。必ず確認の実験をさせる。」ことを自身の目標に、学生が持っている様々な能力の引き出しの開け方を、冗談を交えて、教えている。1年半コースの修了時期には、学生は、自発的になり、自分達の能力を発揮して、生き生きと「ものづくり」に没頭している。このとき、やりがいを感じる。大学からの要請がある限り、続けていきたいと考えている。

大学の先生方との交流が増すにつれ、異分野からの仕事も回ってくるようになってきた。その中の1つに、2007年に支援した高松塚古墳の解体がある。考古学分野は、全く分野外であったが、すごく新鮮であり、やりがいがあった。今まで培ってきた技術を、古墳解体へ適用し、古墳解体装置、石材搬送システムや石材の物性計測システムなどが、高く評価され、文科省の信頼を得た。そのため、2007年8月の解体で終わる予定が、解体後も石材の保護柵の開発を依頼され、

2016年まで支援が続いた。それが、評価され、2018年に第7回ものづくり大賞において経済産業省大臣特別賞を受賞できた。おかげで唯一自慢できるものができた。今後は、保存の方向で進むとみられ、保存施設を建設後、石材の移動に耐え、かつ、展示にも使える保護柵の製作をしていくことになる。この仕事も、依頼がある限り、続けていきたいと考えている。

産業支援財団に採用となり、前職とは全く違った仕事であり、新鮮で、あっと言う間の一年半が過ぎた。少しずつ中小企業の方達とコミュニケーションが図れるようになってきたと実感している。今後は、中小企業の方々の色々な要望に対応できるように務めていきたいと考えている。

【大学授業の息抜きの問題】

興味があれば、考えてみてください。答えが、気になる方は、私まで。

「水を40℃に温めて、濃度5%と50%の食塩水を作りました。そして、濃度40%の食塩水を作ることにしました。濃度5%の食塩水100gに濃度50%の食塩水を何g混ぜればよいのでしょうか？」

行事予定 (講座、イベント等)

開催日	名称	場所	担当課
7月25日	かがわ産業振興クラブ講演会	高松国際ホテル	総務課
7月31日	新かがわ中小企業応援ファンド等事業/ かがわ農商工連携ファンド事業 新商品発表会	サンメッセ香川 小展示場	ファンド事業 推進課

公募予定 (補助金、出展者募集等)

募集期間	名称	内容	担当課
6月7日～ 8月2日	令和元年度 後期募集 新かがわ中小企業応援ファンド等事業 新分野等チャレンジ支援事業 (詳細は9ページ参照)	県内の中小企業者が取り組む新分野進出のための商品・技術開発や、市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証試験などを支援します。	産学官連携 推進課
	令和元年度 後期募集 新かがわ中小企業応援ファンド等事業 県外見本市出展支援事業 (詳細は9ページ参照)	販路開拓等を目的として、自社で開発した新製品、新サービス、新技術を基に新たな事業展開を目指す中小企業者等に対し、県外で開催される見本市への出展を支援します。	取引支援課
6月14日～ 7月22日	起業等スタートアップ支援補助金 (先端技術活用型) 2次募集 (詳細は11ページ参照)	先端技術を活用した創業者や第二創業者等に対し必要な経費の一部を補助します。	企画情報課
	起業等スタートアップ支援補助金 (地域課題解決型) 2次募集 (詳細は11ページ参照)	地域の課題の解決に資する事業で創業する者に対し初期投資に必要な経費の一部を補助します。	企画情報課
6月21日～ 9月10日	令和元年度 香川県食品商談会 (参加者募集)	バイヤーとの事前マッチングによる商談会と見本市を同時開催します。県内の食品加工事業者・農林水産事業者等の参加を募集します。 ●開催日:9月10日 ●場所:JRホテルクレメント高松	企業支援課
9月下旬～ 11月初旬 (予定)	かがわビジネスモデル・ チャレンジコンペ2019	独創的なビジネスモデルを募集・審査し、潜在的な起業家を発掘することにより、香川県の将来を担う革新的ベンチャー企業を創出し、育成していきます。	企業支援課

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL(087)840-0348 FAX(087)869-3710
企画情報課
TEL(087)868-9901 FAX(087)869-3710
ファンド事業推進課
TEL(087)868-9903 FAX(087)869-3710
施設管理課
TEL(087)869-3700 FAX(087)869-3703

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL(087)840-0391 FAX(087)869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL(087)868-9904 FAX(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階
産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム
TEL(087)840-0338 FAX(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階
研究管理課・研究開発課
TEL(087)869-3440 FAX(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
知的財産支援課
TEL(087)867-9577 FAX(087)867-9365
知的財産普及課
TEL(087)869-9004 FAX(087)867-9365